

# 日田彦山線復旧問題で 沿線自治体と意見交換会開催!

# 国 労 九 州

復第 86号

福岡市博多駅東  
3丁目9番3号  
ニココーハイツ 1003  
092-483-1515  
発責 千々岩隆  
編責 西山泰三



九州本部は、6月28日、29日、日田みくまホテルで拡大業務部長会議を開催し、春闘の総括、秋の労働条件改善、労働協約改定に向けた意思統一を行いました。翌日には、北部九州豪雨災害から間もなく一年を迎え、今もなお復旧がなされていない、日田彦山線について、沿線自治体との意見交換を行う為、参加者全員で東峰村に向き、沿線自治体と意見交換を行いました。

29日当日は、朝から大雨警報が出されるなど開催が危ぶまれましたが、澁谷村長、高橋副村長が対応していただきました。村長から、間もなく災害から一年を迎える。雨の怖さを痛感した。日田彦山線も被災し今もって復旧の目途もたっていない。鉄道はロマンがあると思っ

ている。日田彦山線をどう活性化させるかと、災害当日も添田町や香春町と活性化協議会を開催していた矢先の災害であった。鉄道の災害を受け交通弱者が一番の被害を受けている。今年の日田への高校進学は一人もいなかった。朝倉の方に進学し、親御さんが送り迎えをしている。村では鉄道利用を促進するため高齢者にチケットを配布していたが、岩屋方面からは5キロもあり初乗り運賃では利用できない。原因は全て鉄道が無いためである。

・組織拡大に  
全力をあげよう!

・大胆に国労  
加入を訴えよう!

・各機関で対策  
会議を開催しよう!

・組織拡大の  
統一行動を  
展開しよう!



災害が発生した場合、N T T、九電は真っ先に災害復旧を行った。何故JRは復旧しないのかわからない。村としては一日も早い復旧を望んでいる」と報告されました。

国労より、千々岩委員長から、国労としてローカル線廃止問題で闘っている西日本三江線や北海道の路線廃止の問題で弱者を守るため運動を行っている事を紹介して意見交換を行いました。復旧費70億円の根拠では、福岡・大分県で出来る部分があるため大幅な圧縮がされること。

国会の災害整備支援法改正で適応が可能になり復旧について障害が減っている事。株式が上場され民間になったが、地域に支えられる会社になって欲しい事。鉄道の復活後は利用の確保など話し合っていくスタンスである事。等が議論されました。国労としても、出された意見について会社との交渉に活かすことを約束し意見交換会は終了しました。

通院・入院・抗がん剤・診断一時金

**生きるためのがん保険 Days**

女性特有のがんにも手厚い

生きるためのがん保険 Days

生きるためのがん保険 Days+

はじめてダック

**Affac**

アフラック

アフラックは、がんの治療に幅広く対応したがん保険。

アフラックの「生きるためのがん保険」は、がんの診断一時金、通院・入院・抗がん剤・診断一時金を最大限にサポートします。

アフラックの「生きるためのがん保険」は、がんの診断一時金、通院・入院・抗がん剤・診断一時金を最大限にサポートします。

アフラックの「生きるためのがん保険」は、がんの診断一時金、通院・入院・抗がん剤・診断一時金を最大限にサポートします。